

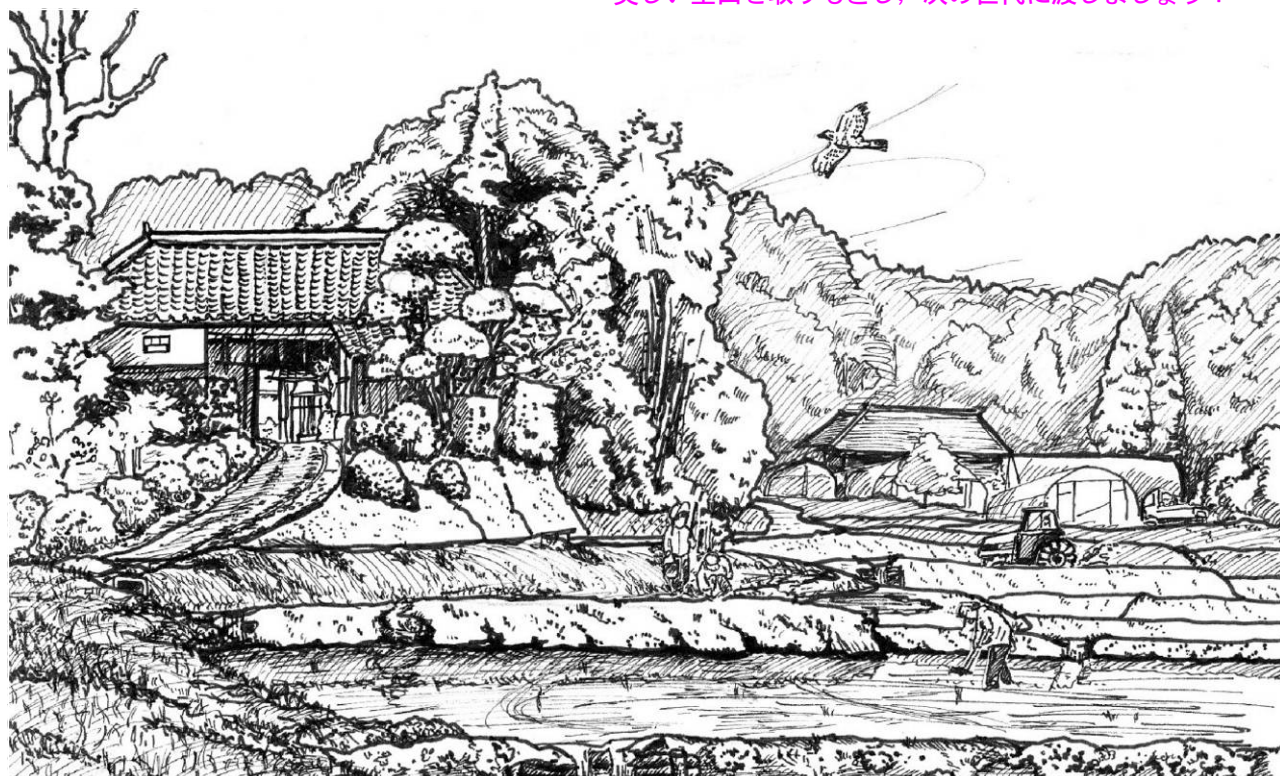
第2回 里山フェスティバル「里山シンポジウム」報告書

里山に託す私たちの未来

2005年テーマ

里山と子ども

先人の豊かな経験を、子どもとその親たちにも伝え、
美しい里山を取りもどし、次の世代に渡しましょう！



イラスト・松下優子、テーマ題字・倉島貴浩（ワークホーム里山の仲間たち）

里山とは……

自然と調和・共存する人々の生活に育まれた森林・草地から水田や畑、川沼、水辺、そして集落を含む人と自然と文化とが一体となった空間です。この里山は、自然と人との共存の場であり、現在および未来の人々にとっては大きな価値を有します。

千葉県では、里山の保全・再生と活用を目指し2003年5月に「里山条例」を施行しました。その趣旨をしっかりと各地の現場に根付かせるためには、行政をはじめ農家、市民・NPO、研究者等が互いに力を合わせた息の長い取り組みが求められます。

**主 催：里山シンポジウム実行委員会・我孫子市・
ちば里山センター・(社)千葉県緑化推進委員会・千葉県**
後援：千葉市